

本製品をお使いの方へ

このたびは、弊社の製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本紙では、本製品をお使いになるうえで知っておいていただきたいことを記載しています。本紙をよくお読みになり、本製品を正しくお使いいただきますようお願いいたします。

■ ワークステーションの電源を入れる前に

本体装置とディスプレイが接続されていない場合、装置が正常に起動しないことがあります。電源を入れる前に、必ず装置とディスプレイがケーブルで接続されていることを確認してください。

■ 拡張スロット番号について

筐体背部に拡張スロット番号が刻印されていますが、ハードウェアガイド（「システムボード CELSIUS460」）に記載されている AGP/PCI スロット番号とは異なりますので、ご注意ください。

■ BIOS 設定値についての注意

本ワークステーションの BIOS 設定値について以下の注意事項があります。

1. Power Management Mode（省電力機能）の設定（注意事項）

Power Management Mode は省電力機能を設定する項目です。

※工場出荷時には、「Disabled」に設定されていますので、変更しないでください。

本ワークステーションでは、BIOS 設定による省電力機能をサポートしておりません。省電力モードを「Disabled」以外に設定しますと、不具合を引き起こす場合があります。

設定の確認方法については、本ワークステーション添付の「ハードウェアガイド」－「3 章 BIOS 設定 Power」を参照してください。

また、BIOS 設定を「Get Default Values」で初期設定に戻した場合、「Power Management Mode」は工場出荷時の設定には戻りません。必ず、上記ハードウェアガイドを参照し、「Disabled」に設定してください。

2. System Management - FAN Control の設定（注意事項）

FAN Control はワークステーション内部に取り付けられたファンの回転速度の制御方法を設定する項目です。

※工場出荷時には、「Auto」に設定されていますので、変更しないでください。

本ワークステーションでは、「Auto」以外の設定をサポートしておりません。「Auto」以外に設定しますと、装置運用に最適な温度制御が働きません。

設定の確認方法については、本ワークステーション付属の「ハードウェアガイド」－「3 章 BIOS 設定 System Management」を参照してください。

3. Peripheral Configuration - Gameport の設定（注意事項）

BIOS 設定を「Get Default Values」で初期設定に戻した場合、「Gameport」は工場出荷時の設定には戻りません。本ワークステーション付属の「ハードウェアガイド」－「3 章 BIOS 設定 Peripheral Configuration」を参照し、「Disabled」に設定してください。

4. Power On/Off サブメニュー - Power On Source の設定（注意事項）

「Power On Source」の設定を追加しました。[（網掛け部参照）](#)

「Power On Source」は、電源管理機能を OS 上で制御するか、BIOS 設定を優先するかを指定する項目です。ワークステーションを電源切断状態から、電源ボタン操作以外で起動させる場合には「Power On Source」を「Bios Controlled」に設定します。また、電源投入を可能にしたいデバイスを「Enabled」に設定します。各デバイスの設定方法については、本ワークステーション添付の「ハードウェアガイド」－「3 章 BIOS 設定 Advanced」を参照してください。

PhoenixBIOS Setup Utility	
Advanced	
Power On/Off	Item Specific Help
Power Off Source Software: [Enabled] Keyboard: [Disabled] Power Button: [Enabled]	
Power On Source: [Bios Controlled] Chipcard: [Enabled] Remote: [Enabled] LAN: [Enabled] Timer: [Enabled]	
LAN Wakeup Mode Monitor: [On]	
Power Failure Recovery: [Previous State]	
F1 Info Select Item -/+ Change Values ESC Exit Select Menu Enter Select Sub-Menu	F9 Setup Defaults F7 Previous Values

5. System Management サブメニュー（追記）

「Alert on LAN」設定の項目を削除しました。

設定は常時「有効」です。

6. Security メニュー（追記）

「Hard Disk Security」サブメニューの項目を追加しました。

Hard Disk にアクセスする際のパスワードを設定する項目です。

但し、本ワークステーションでは「Hard Disk Security」サブメニュー内の設定項目はサポートしておりません。

■ CELSIUS GL2 搭載モデルをお使いの方へ

グラフィックスカードのカスタムメイドで CELSIUS GL2 搭載モデルをお使いの方へ、以下の注意事項があります。

1. システムフォントについて

CELSIUS GL2 搭載モデルでは、システムフォントを「大きいフォント」に変更しますとウィンドウ内のメッセージが正しく表示されない場合があります。

システムフォントの設定方法は、以下を参照してください。

Windows NT : 画面中央を右クリック → 「プロパティ」を選択 →
「画面のプロパティ」 → 「ディスプレイの設定」タブを選択 →
「フォントサイズ」の指定

Windows 2000 : 画面中央を右クリック → 「プロパティ」を選択 →
「画面のプロパティ」 → 「設定」タブを選択 →
「詳細」ボタン →
「DIAMOND Fire GL2 Video Accelerator のプロパティ」 →
「フォントサイズ」の指定

2. マウスカーソルの影について

CELSIUS GL2 搭載モデルで Windows2000 をお使いの場合、「Print Screen」ボタンを押した時に、マウスカーソルの陰影が黒くつぶれることがあります。この現象による動作上の問題はありません。

マウスを右クリックすると、カーソルの影は元に戻ります。